

1. はじめに

私は英語を不自由なく使えるようになりたいと思いこの留学に参加しました。すごく当たり前の理由かもしれませんが、数年前にアメリカで2週間のホームステイに参加した際に英会話がほとんどままならず、この程度ではだめだと強く感じたことを覚えています。その頃からまたいつか留学をしようと決意していたため、この留学への参加は全く迷いませんでした。このレポートでは今回の留学生活で特に心に残っていることを2つ述べたいと思います。

2. Thanksgiving のホームステイ

アメリカには **Thanksgiving Day** という祝日があり、それに合わせて大学も約1週間休みになるため、私たちはプログラムの一環としてホームステイを行いました。私のホストファミリーはとても明るい家族で、温かく迎えてくださり、毎日がとても楽しかったです。普段は寮生活でしたがこの期間はそれぞれ家庭にお世話になったため、文化を最も身近に感じることでできた日々だったと思います。特に **Thanksgiving Day** は家族・親族みんなで食事をとるのが習慣で、私たちもターキーやマッシュポテトと一緒に食べました。この約1週間はとても充実していたため、ホストファミリーとのお別れは本当に寂しかったです。

3. ESL クラス

私たちは **ESL(English as a Second Language)** というコースで韓国人、中国人、サウジアラビア人と一緒に4か月間学習しました。途中1か月はメキシコからの生徒もいて、**ESL** は英語だけでなく多文化を学べる時間でもありました。授業内外関係なく自国の文化について話したり、貨幣を見せ合ったりと色々な国について知ることができてとても良い経験となりました。また、**ESL** の生徒2人につき1人アメリカの生徒がついて週に1回会って話をする **CP(Conversation Partner)** というプログラムがあり、私はそこで **Ann** という韓国人の女の子と同じグループになりました。**Ann** とはたくさん話して、お互いの部屋に遊びに行ったり一緒に買い物に行ったりして本当に楽しかったです。彼女と仲良くなれたことは私にとって一番嬉しいことで、お別れときは涙が止まりませんでした。これからも連絡を取り合っていきたいです。

4. 終わりに

振り返ってみると4か月は長いようでとても短かったです。終わりに近づくにつれ、寂しさと同時に、もっと頑張ればよかった、あの時こうしていればというような後悔も感じました。しかしこの留学に参加して、友達ができたりこれから頑張ってみようと思うものが見つかったりと、得るものが大きかったです。これから留学を控えている人には後悔のない留学にしてほしいと思います。